

# まじゅんプランを 推進しているか

答 約6割の事業で実施できた



浦崎みゆき 議員

**問** 自分らしく輝いていける社会の実現のために第二次南風原町男女共同参画計画（まじゅんプラン）が平成24年度に策定された。どのように推進しているか。また3年が経過し、成果はどうか。

**副町長** 進捗を平成25年11月に審議し、町のHPに掲載している。約6割の事業がおおむね実施できた。

**企画財政課長** 成果の例として挙げると、幼稚園または保育園では「君」や「さん」と男女区別せず「さん」で統一して指導している。女性団体等交流会も年に1度だったが、要望により今年は2回開催している。1月にも実施予定である。女性団体の連携が深まった。



女性団体等交流会

**問** 男女共同参画推進会議の委員は委嘱されているか。

**副町長** 平成25年10月19日で委員の任期が満了し、その後は委嘱されていない。

平成27年2月1日から10日に公募等も含め2月中旬に委託を行う予定である。

**町外に通う園児に補助を**

**問** 現在、町外に通う認可外保育園児に対する補助金がない。同じ南風原町の子

どもとして不公平がある。町外の園にも補助することができないか。

**副町長** 町外に通っている子どもは106人いる。町外の園へ直接運営費等の補助することは、単独自治体では厳しい。

**問** 他の自治体では待機児童世帯に対する助成金がある。本町に導入できないか。

**町長** 町内の認可外保育園に預けている子たちに対しては助成されているが、町外に預けられている子たちに助成はないということは公平性を欠く。園に助成となると不均衡や格差が出るものと推測する。園ではなく世帯に対して町内で行っている補助額を助成することも大事である。町外へ通う106人に公平性を期するためにも補助する方向で検討したい。